



2019年度

事業実績

自 2019年4月 1日
至 2020年3月31日



1. 事業活動



1) 組織運営

⇒ 総会、理事会などを計画通りに運営し、業界内の連携を促進

< 理事会 >

< 運営委員会 >

第203回 「2019年度事業計画・予算」 (前年3/1)

第80回 事前審議 (前年2/18)

第204回 「第85回定時総会議案」 (書面) (5/13)

第81回 事前審議(書面) (4/19)

第205回 「役員選任」 (5/28)

第206回 「2020年度事業計画・予算」 (書面) (3/25) ※

第82回 事前審議(書面) (3/10) ※

※ 新型コロナウイルスの影響で急遽書面審議に変更

< 総会 >

第85回定時総会 「2018年度事業実績・2019年度事業計画」
「2018年度決算・2019年度予算」 (5/28)

定時総会懇親会 (同)

1) 組織運営

⇒ 定時総会懇親会には政府、国会議員や業界関係者など約410名が出席(5/28)

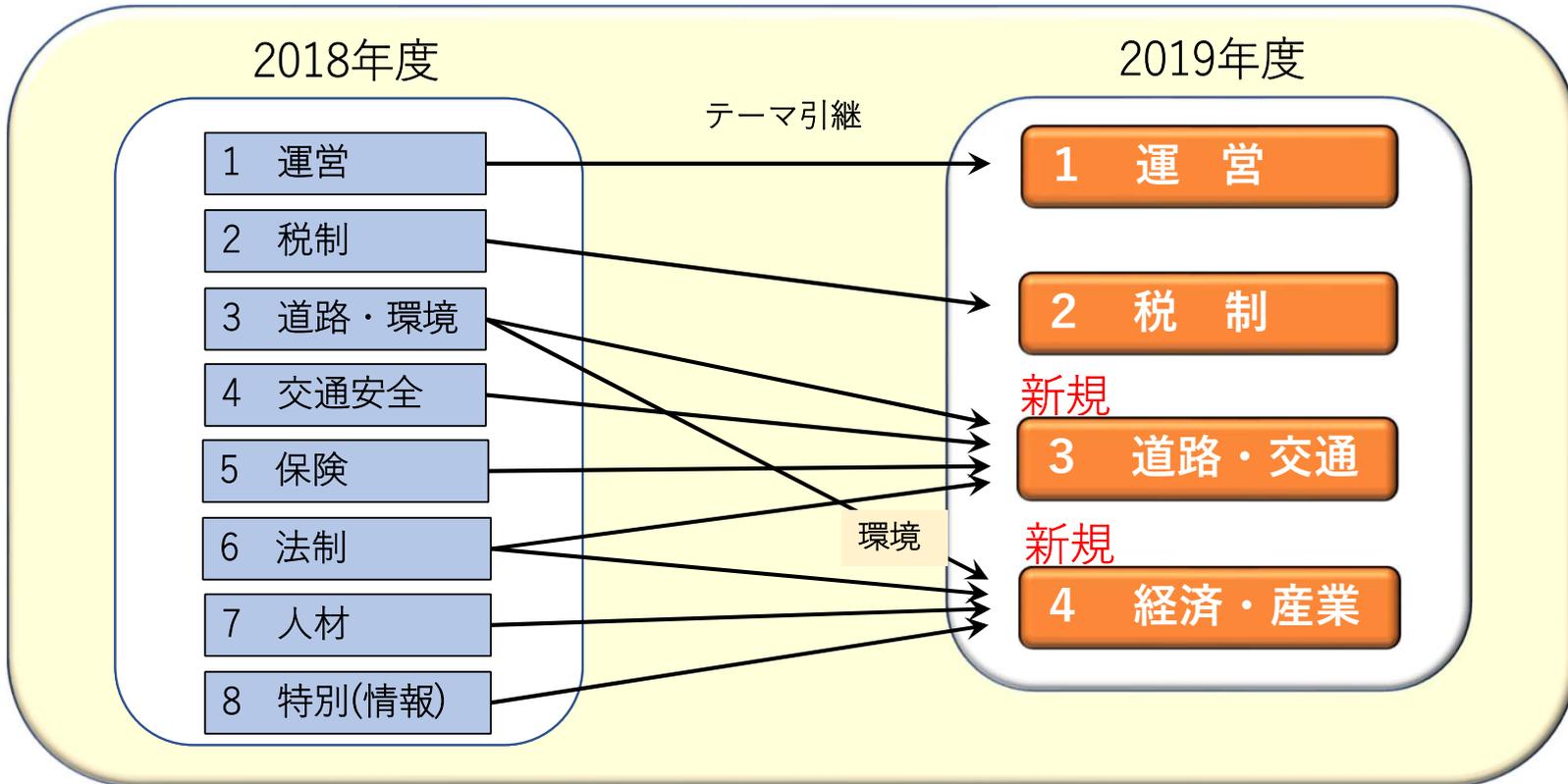




1) 組織運営

⇒委員会数 8 → 4 に簡素化し、情報共有の効率化を図った
⇒新たに「道路・交通委員会」「経済・産業委員会」を立ち上げ

< 委員会構成 >





1) 組織運営

⇒新委員長とともに、個別テーマで会議所活動に助言・関与いただく特別委員長をアサイン

<各委員会 委員長・特別委員長>

(敬称略)

委員会	委員長	特別委員長	所管分野
1 運営	永塚誠一 自工会副会長・専務理事	—	会議所活動 実績・計画
2 税制	吉武一郎 自販連法規・税制委員長	—	自動車関連税制
3 道路・交通	梶野龍二 トラ協理事長	公共交通・MaaS 石指雅啓 バス協理事長 交通安全 木場宣行 日整連専務理事	道路・交通、 保険、交通安全 等
4 経済・産業	平井敏文 自販連副会長・専務理事	保険 浜島和利 日本通運執行役員 新技術・情報 和辻健二 自工会常務理事 企画 島崎有平 自販連常務理事	経済・産業、 環境・エネル ギー、人材 等

※ 氏名・役職は昨年末時点



1) 組織運営

⇒ 会員拡大にも注力し、2 企業会員、1 団体会員が新規加入。現在協議中の法人もあり

(1) トヨタモビリティサービス株式会社
(代表者：代表取締役社長 村上秀一)
加入日 2019年4月5日



(2) 一般社団法人日本自動車購入協会
(代表者：代表理事 井上貴之)
同 4月15日



(3) 日本水素ステーションネットワーク合同会社
(代表者：社長 菅原英喜)
同 5月14日



<日本自動車会議所会員数> (2020年3月31日現在)	総数	173	うち	団体会員	89
				企業会員	78
				推薦会員	6

1) 組織運営

⇒事業適正化：イベント拡大などで赤字が増大してきたが、19年度は黒字化実現

(単位：百万円)

	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	105	105	105	104	104	101	102	102	98	98
支出	105	105	107	109	114	112	114	111	97	95
収支差額	0	0	▲2	▲5	▲10	▲11	▲12	→ ▲8 ※	1	3
財産	-	158	-	153	-	142	-	134	-	137

主な事業拡大・・・

- ・70周年記念事業
- ・渉外活動拡大

- ・交通安全イベント拡大(年1→2回)
- ・ホームページ改定
- ・親子イベント追加
- ・渉外活動拡大

- ・交通安全イベント年2回継続
- ・親子イベント継続
- ・人材委員会追加
- ・渉外活動拡大

※…年度途中で交通安全イベントを緊急的に費用削減

1) 組織運営



⇒事業適正化：19年度 費用・工数負荷の高いイベント、会員サービス事業を見直し

主な対象事業	拡大 以前	2019年度実績	工数削減	収支改善
イベント 交通安全アクション	1回/年	2回/年→1回	◎	◎ 530万円
会員研修会	10回/年	12回/年→7回	◎	○ 60万円
会議所ニュース	12回/年	12回/年→10回	○	○ 100万円
「数字で見る自動車」 「運送事業経営指標」刊行	1回/年	1回/年→ 国交省HPに移管	○	○ 50万円
イベント 会館親子キッズ エンジニア	なし	1回/年→とりやめ (今後の新規施策に引継)	◎	○ 80万円
イベント 交通安全ポスターコンテスト	1回/年		◎	○ 30万円
エコドライブポスター掲出	2回/年	2回/年→ 提供物・方法見直し	○	○ 30万円



1) 組織運営

⇒ 事務局の働き方改革、業務効率化（ペーパーレス化・電子化）の取り組みも推進中

<働き方改革への対応>

・ 多様で柔軟な働き方の推進としてフレックスタイム制を開始(2019.6~)
(コアタイム：11~14時)

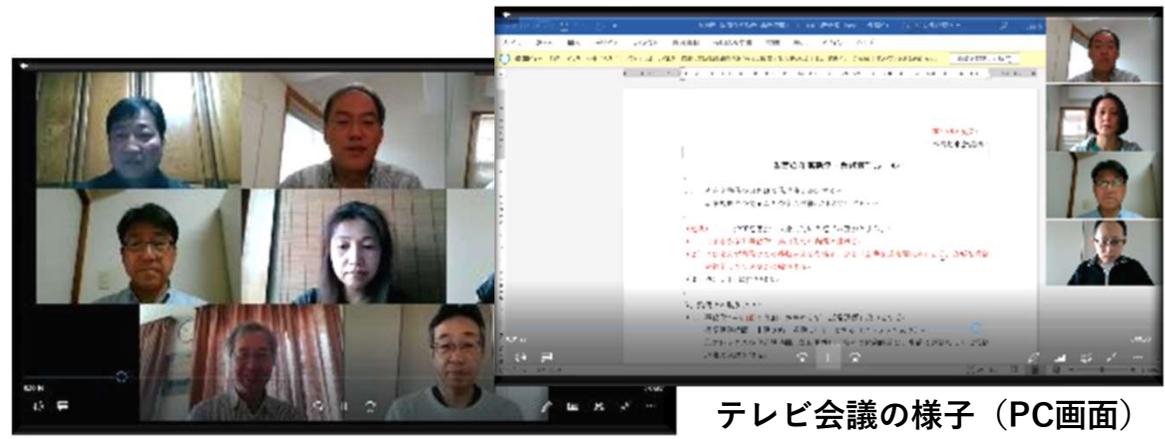
■ スマホ・PCから出退勤時間・休暇予定 申請システム導入

・ 東京オリ・パラ、新型肺炎対策も踏まえ、在宅勤務を先行実施(2020.3~)

■ テレビ会議システムや運用ルールを前倒し導入



スマホ申請画面



テレビ会議の様子 (PC画面)



1) 組織運営

< 業務効率化 (ペーパーレス化・電子化) への対応 >

・ 会議案内・説明資料等を、会員向けサイト「クルマbiz」で展開、各自でダウンロード可能に

ロード可能に

・ Fax送信・印刷資料の削減

・ 会議・打合せでのプロジェクター積極活用

■ 費用削減効果 (2019年度)

事務用印刷費 : 前年比 ▲ 17% 減
通信費 (電話・Fax) : 同 ▲ 26% 減



「クルマbiz」 個人トップ画面

2) 税制

⇒引き続き「負担軽減・簡素化」を訴え、税制要望書とりまとめ・要望活動を展開

<税制改正要望書とりまとめ>

- ・ 税制部会 委員団体税制要望ヒアリング (9/6)
- ・ 第1回税制委員会「税制改正要望書」審議 (9/19) ・ 取りまとめ(10/7)



第1回税制委員会

2020年度
税制改正に関する要望書

2019年10月

一般社団法人 日本自動車会議所

2) 税制



⇒要望書：あらためて「自動車関係諸税の負担軽減・簡素化」を重点項目のトップに

1. 過重で複雑な自動車関係諸税の負担軽減・簡素化

①納税者であるユーザーの立場から、依然として負担が重い自動車関係諸税について、全般にわたる負担軽減・簡素化に取り組むべき

②中長期的な自動車関係諸税の検討は、ユーザーの声を尊重し、根本的に課税のあり方を議論すべき

2. 車体課税の見直し

- ①自動車重量税の将来的な廃止を目指し、まずは「当分の間税率」の廃止
- ②2020年9月30日に期限切れを迎える、環境性能割の需要平準化特例措置の延長

3. 燃料課税の見直し

- ①ガソリン税、軽油引取税に上乗せされたままの「当分の間税率」の廃止
- ②ガソリン税・石油ガス税等のTax on Taxの解消

4. 自動車ユーザーの新たな税負担増は反対

- ①財源確保などのための自動車関係諸税（車体・燃料課税等）の新税創設および増税には反対
- ②営業用自動車の軽減措置の維持

2) 税制

⇒要望活動では、例年行われる各政党ヒアリングを中心に事務局が対応

- ・ 国会議員・関係省庁へ要望書配布(10/8)
- ・ 自民党 運輸・交通関係団体委員会/国交部会ヒアリング(11/7)
- ・ 公明党 自動車議員懇話会ヒアリング(11/8)
- ・ 野党共同会派ヒアリング(11/12)



自民党



公明党



野党共同会派

2) 税制



⇒ 自民党自動車議連：消費税UP後の販売・業界動向等もフォローし要望陳述(11/29)



内山田会長が代表挨拶 業界15団体・経済産業省幹部、国会議員本人107名が出席



- 販売・業界動向の説明を行う
左から 小関眞一 自販連会長
坂本克己 全ト協会長
海津博 中販連会長

2) 税制



⇒税制改革フォーラム：JAFを中心に、①ユーザーの声収集活動、②街頭活動（チラシ等配布）を全都道府県で継続実施

みんなで考えよう!
クルマの税金

ご存じでしたか?

- 1 自動車ユーザーは**9兆円もの税金**を負担しています。
- 2 クルマを購入・所有すると13年で**180万円**の税金を負担することになります。
- 3 クルマの税金には不合理な「**当分の間税率**」や「**Tax on Tax**」といった仕組みが続いています。

自動車ユーザーの98%が自動車にかかる税金に負担を感じています
(JAFユーザーアンケートより)

子育てに車は必須です
もう少し税金の負担を減らせないでしょうか?

クルマでもっと
うみやまに
いきたいです

自動車がないと
生活できない
買いたいけれども税金は
負担が重なるような税金に
してほしい!

◆私たちは自動車ユーザーの率直な声を政府等に届ける活動を行っています。
◆自動車ユーザーはクルマの税金に負担感や不合理さを抱えています。
◆こうした声を結集して、私たちはクルマの税金の見直しを訴えていきます。

JAF(日本自動車連盟) JAF税制 検索
自動車税制改革フォーラム



フォーラム街頭活動（東京・田町駅前（10/24））

これまで収集したユーザーの声を活かした今年度フォーラムチラシデザイン

2) 税制



⇒ 甘利自民党税調会長と今後の税調の方針や「中長期的な視点」も含め意見交換(2/14)



甘利明 自民党税制調査会会長

税制委員会において甘利税調会長より「令和2年度税制改正大綱」に関する講演・意見交換を実施

3) 交通安全

⇒ 会員研修会：高齢者事故のテーマをシリーズ化し、知見深化の機会増加を推進

- ・ 第259回「高齢者交通安全対策の課題と展望」(6/4)
(東京大学大学院新領域創成科学研究科 鎌田実教授)
- ・ 第262回「高齢者の運転傾向と安全対策～運転挙動調査研究よりわかること」(9/27)
(NPO法人高齢者安全運転支援研究会 平塚雅之事務局長)
- ・ 第266回「高齢者事故 ドライブレコーダー分析(仮題)」(3/25)
(高齢者安全運転診断センター 石田浩専務理事)

※新型コロナウイルスの影響で延期



鎌田実教授



平塚雅之事務局長



石田浩専務理事

3) 交通安全



⇒国内施設視察会：ホンダ「ツインリンクもてぎ」で安全運転講習会を実施(11/11)

- ・概要：①インストラクターより、「意識の脇見」等、運転に危険な事象について、
簡単な演習を交えた講義を受講
 - ②スリップやスピン等の危険な状況への対応を体験トレーニング
 - ③先進安全技術車で衝突被害軽減ブレーキや誤発進防止機能の効果を確認
- ・参加者：18名



インストラクターから事前講義



低 μ 路での体験トレーニング



衝突被害軽減ブレーキの効果を確認



ホンダコレクションホールも見学

3) 交通安全

⇒啓発イベント「交通安全。アクション」を年1回開催に戻し、4月に新宿で開催

【日時】 2019年4月6日（土）・7日（日）
12:00~17:00 11:00~16:00

【場所】 新宿駅西口広場イベントコーナー

【主催】 日本自動車会議所・警視庁新宿警察署

【後援】 内閣府・国土交通省・警察庁・警視庁交通部・東京都

【開催目的・テーマ】
高齢者や家族を対象に体験を通じて交通社会のルールや安全行動の大切さを啓発する

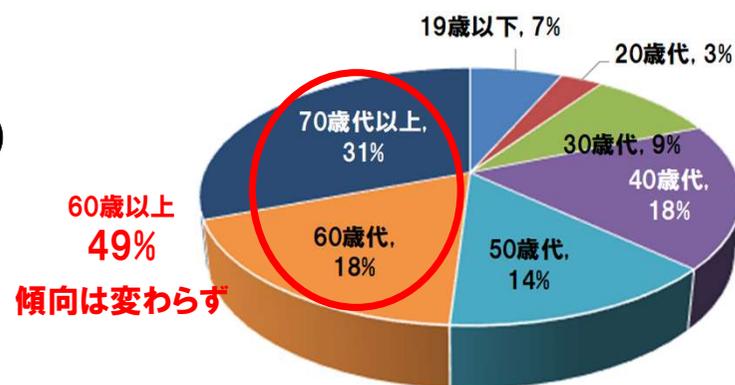


3) 交通安全

⇒アクション：会員をはじめとした協力団体・スタッフの支援により盛況裡に終了

- ・ 総来場者：7,000名（前年比▲700）
- ・ 協力団体：47団体（+1）スタッフのべ186名（+5）
- ・ ブース出展団体：12団体（▲1）
- ・ 会場の様子

■ 来場者年齢構成



新宿西口方面入口



体験ブース



ステージイベント

オープニングイベント



新宿署長ごあいさつ



新宿区長ごあいさつ



一日署長：小川真奈&クイーンビート



新宿区交通少年団



交通安全宣言



記念撮影

ステージプログラム等



ピエロのグリーティング



交通安全〇×クイズ



交通安全ビンゴ



新宿署：ピーポ君との撮影会



歌：小川真奈&クイーンビート 寄席：古今亭文菊師匠



飲酒運転根絶パネルコーナー



ブースプログラム (含共同ブース)

	プログラム名称 (出展団体名)		プログラム名称 (出展団体名)		プログラム名称 (出展団体名)		プログラム名称 (出展団体名)
1	交通安全約束 手形(共同) 	5	電動車いすの 安全利用 (電動車いす 安全普及協会) 	9	俊敏性測定 「あなたの俊敏 性は何歳？」 (イーティエフ) 	13	エコドライブで 交通安全 (東京都トラック 協会) 
2	高齢者 交通安全 啓発コーナ (北里大学医療 衛生学部・ 共同) 	6	もの忘れ チェック体験 (高齢者安全運 転支援研究会 /全日本指定自 動車教習所 協会連合会) 	10	自動車運転 適性診断 (自動車事故 対策機構) 	14	歩行者 シミュレータ (東京都都民 安全推進本部) 
3	首都高 安全広報隊 (首都高速道路) 	7	ライディング シミュレーター & ゲンチャレ (日本二輪車 普及安全協会) 	11	飲酒疑似体験 ウォーキング (共同) 	15	総合受付 (共同) 
4	白バイ 搭乗体験 (警視庁・新宿 警察署) 	8	てんけんくん めりえ体験 コーナー (日本自動車 整備振興会 連合会) 	12	反射材 効果体験 (日本自動車 連盟) 		

3) 交通安全

⇒新規施策：自動車会館ロビーに展示設備を設置「ナスバギャラリー展」を開催(1月)
(自動車事故対策機構)



作品展 日本自動車会館ロビーの様子 (1/30)

交通事故被害者の作品展

～ナスバギャラリー IN東京～

期間 2020年
1月30日(木)～2月5日(水)
(土日を除く)

時間 8:00～20:00
※初日(1月30日)は12:00から開催
最終日(2月5日)は13:00終了

場所 日本自動車会館ビル
(東京都港区)



重い障がいを負った方が口に筆をくわえて描いた作品
「安芸の高島 大鳥居」

自動車事故により親を亡くされた子ども(交通遺児)のコンテスト入賞作品や、重い障がいを負った方の創作作品の展示をする「ナスバギャラリーIN東京」を開催します。

自動車事故の被害に遭われた方々を様々な角度から支援する独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA:ナスバ)と、広く交通安全意識の高揚を図る社会貢献活動を行う一般社団法人日本自動車会館所との初めてのコラボレーション企画です。

作品を通じて被害者の現況を知り、交通事故について今一度考えていただけることを願っています。



交通遺児友の会絵画コンテスト最優秀賞(国土交通大臣賞)
「カマキリとぼく」

NASVA ナスバギャラリーとは
被害者支援と自動車事故防止に資することを目的に、自動車事故により保護者を亡くされた子ども(交通遺児)のコンテスト入賞作品や重度後遺障がいを負った方々による創作作品等の展示を通して、同様の被害者を発生させてはならないという事故防止の意識の醸成を図ることを目的に開催しています。

主催：独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA:ナスバ) 03-5608-7620

共催：一般社団法人 日本自動車会館所
協力：株式会社NBFOフィスマネジメント



日本自動車会館ビル 1階ロビー廊下
東京都港区芝大門1-1-30
都営三田線「御成門」駅より徒歩3分
都営浅草線・大江戸線「大門」駅より徒歩4分

3) 交通安全



⇒地域の交通安全啓発活動への支援・協賛活動も継続

- ・新宿警察署イベントに協力(10/14)
→事故現場を再現する「スケアード・ストレイト交通安全教育」(新宿アルタ前)



事故現場再現の様子



トヨタ・日産・ホンダの
先進安全装備車両を展示

- ・俊敏性測定機器(クイックアーム)全国7自動車会議所への貸出(体験者1,740人)



福島_バスまつり



愛知_自動車なんでも無料相談



富山_環境フェア

4) 保険

⇒2年連続の繰り戻し・増額実績をテコに、被害者救済と繰り戻しの継続・拡大を主張

< 審議会等への対応 >

- ・ 国交省 今後の自賠制度のあり方に係る懇談会（あり方懇）（6/12）
→ 保険特別委員長の代理として **山岡専務理事が意見陳述**
- ・ 金融庁 自動車損害賠償責任保険審議会（自賠審）（1/16・22）
→ **浜島保険特別委員長が意見陳述**



あり方懇 山岡専務理事出席



自賠審 浜島保険特別委員長出席

4) 保険

⇒世論喚起として「報道関係者向け説明会」を開催・メディア23社28名が出席

【日時】 2019年10月4日（金） 13:30-15:00

【場所】 日本自動車会館 1階 くるまプラザ会議室

【主催】 自動車損害賠償保障制度を考える会

【概要】

(1) 説明会「交通事故被害者救済事業の充実に向けての課題について」

○自動車事故対策機構(NASVA)

濱理事長

○同 千葉療護センター

小林センター長

○全国遷延性意識障害者・家族の会

桑山代表

○脳損傷による遷延性意識障がい者
と家族の会「わかば」

横山代表

○国土交通省自動車局

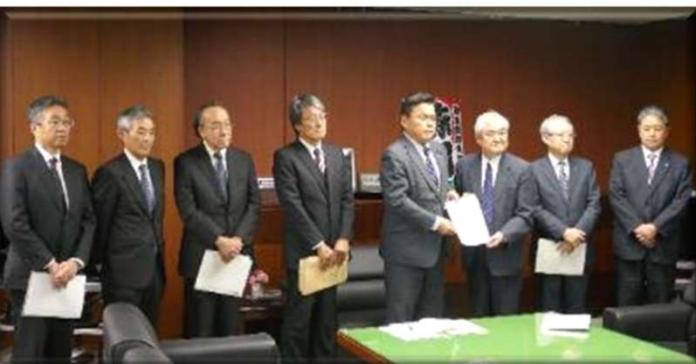
江原保障制度参事官

(2) 質疑応答



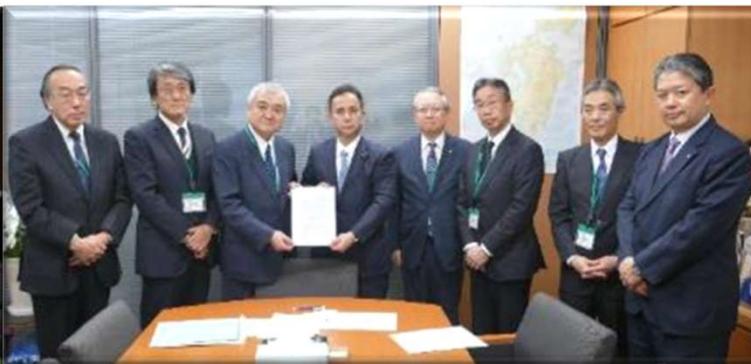
4) 保険

⇒考える会 福田座長一行が、赤羽国交大臣、遠山財務副大臣などに「積立金の継続的な繰戻しと繰戻額の増額を求める」要望書を手交(11/22)

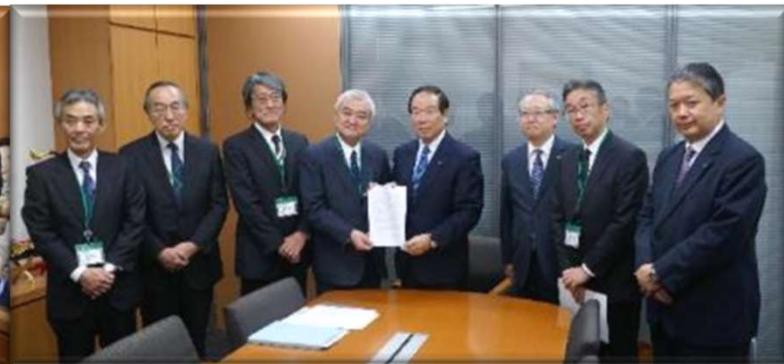


赤羽国交大臣

→TVを含めたメディア14社
より取材申込み



遠山財務副大臣



額賀自動車議連会長

【自動車損害賠償保障制度を考える会 呼びかけ人】

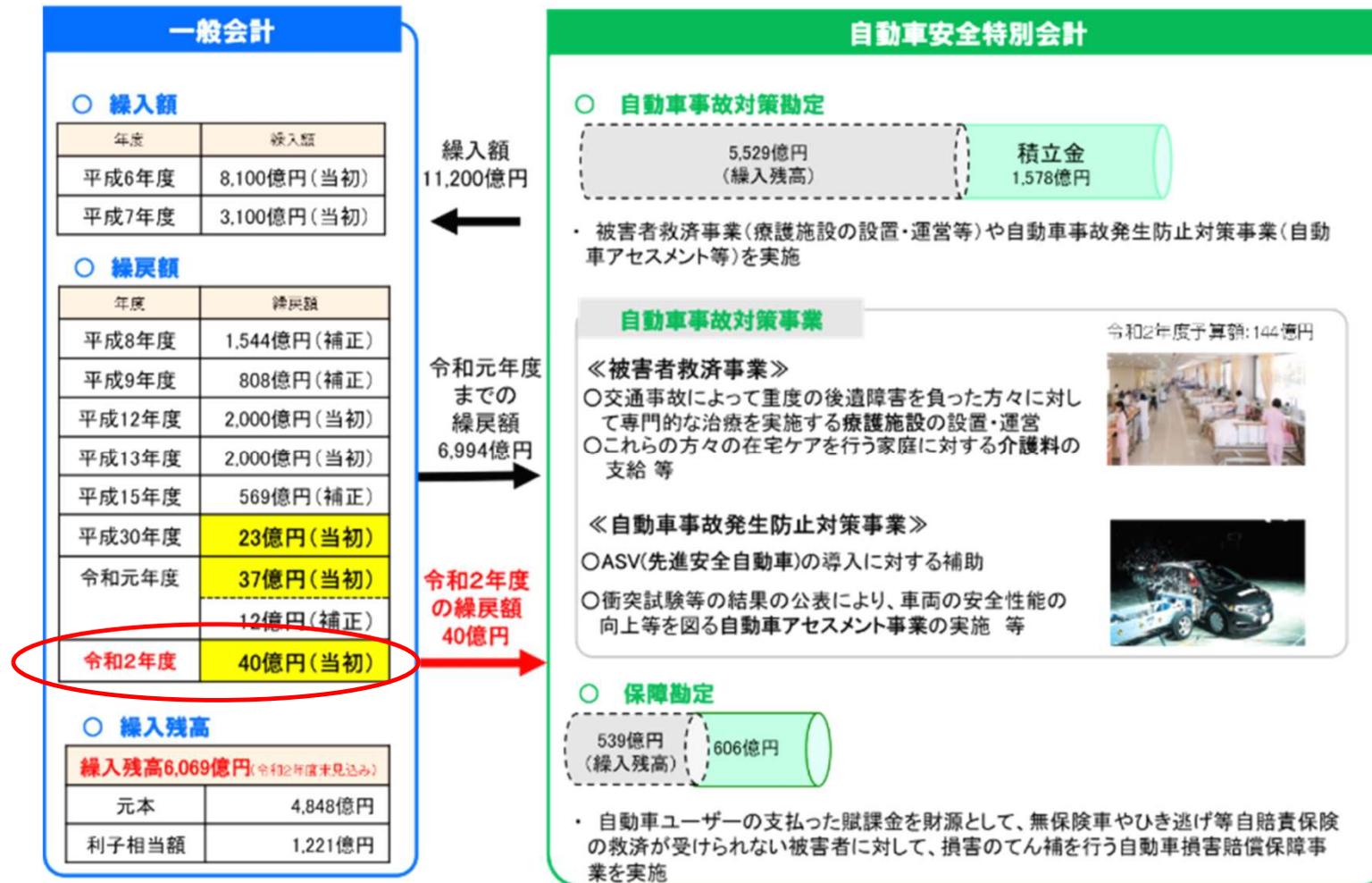
- (座長) ○日本大学 危機管理学部長 福田弥夫氏
- 全国遷延性意識障害者・家族の会 代表 桑山雄次氏
- (一社)日本自動車連盟 副会長 坂口正芳氏
- 全日本自動車産業労働組合総連合会 会長 高倉明氏
- (一社)日本自動車会議所 保険特別委員長 浜島和利氏



国民民主党国会議員

4) 保険

⇒政府予算案：一般会計からの繰戻しは、増額のうえ3年連続となる**40.3億円**で決着



出展：国交省資料

4) 保険



⇒考える会として政府予算案を評価するコメントを発表(12/20)

- 本日閣議決定された令和2年度予算案において、一般会計から自動車安全特別会計へ**40.3億円を繰り戻す**とされたことは、**3年連続の増額の繰戻し**と、積立金の取崩額の縮減が図られるものであり、**継続的な繰戻しと繰戻額の増額を求めてきた我々の要望に沿う結果として評価したい。**
- また、令和2年度予算案において、療護施設の拡充等が認められるなど、交通事故被害者の救済事業の充実が図られたことや、令和元年度補正予算案で12.5億円が繰り戻され、サポカー導入補助金に活用されることが決定し、交通事故発生防止対策が充実されたことについても評価されるべきものである。
- 当自賠責保険積立金は、かつて自賠責保険として自動車ユーザーが支払ったものの運用益を原資とする、その時々が必要とされる交通事故被害者の救済や事故防止対策に用いられているものである。
- 我々は引き続き、この積立金が枯渇することのないよう、一般会計に貸し出された**6,000億円を超える繰入金**が、**国土交通大臣と財務大臣の合意通り早期に返済されることを強く求めていく**と同時に、特に在宅での家族介護者が高齢などの理由で介護の継続が困難な状況も散見されているため、交通事故被害者への支援対策事業の充実について注意深く見守り、今後とも必要に応じて提言を行う所存である。

5) クルマ好き拡大

⇒ 会議所ホームページでクルマ・イベントの情報提供・検索、集客支援等を展開中

2017年8月 新HP立ち上げ <https://www.aba-j.or.jp/>

日本自動車会議所
Automobile Business Association of Japan

クルマbiz Google カスタム検索
: アクセス : お問い合わせ : サイトマップ :

ホーム・新着情報 自動車会議所とは 会議所の活動 会員紹介 クルマの情報館 刊行物 リンク集

クルマ社会の健全な発展をめざして

最新情報 日付は新着情報の掲載日です すべて 会議所ニュース イベント・行事 自動車産業インフォメーション 一覧 >

2020年2月3日	白書・意見書・刊行物	地域公共交通会議への参画重視を 加藤名大教授
2020年2月3日	白書・意見書・刊行物	日整連19年度自動車分解整備実態調査 販売上高3年連続増加
2020年2月3日	白書・意見書・刊行物	特定整備4月1日スタート 広くアフター市場に影響
2020年2月3日	白書・意見書・刊行物	体質悪化の事故防止へ トラック・バス・タクシー事前検査を促す
2020年1月31日	交通安全	官民一体でサブカー普及啓発 山口県で新組織
2020年1月31日	白書・意見書・刊行物	ホンダ 中古車のサブスクリプションを展開
2020年1月31日	白書・意見書・刊行物	全国レンタカー協会 外国人観光客の利用支援へドライブアプリ提供
2020年1月30日	白書・意見書・刊行物	2020年の輸入車販売「30万台以上」を予測 日本自動車輸入組合

New! 日本自動車会議所
クルマに関するイベントなど
あらゆる情報をご提供いたします

クルマの
情報館 検索

数字でみる
自動車
国土交通省ホームページ

変わります!クルマの税
CHANGE!

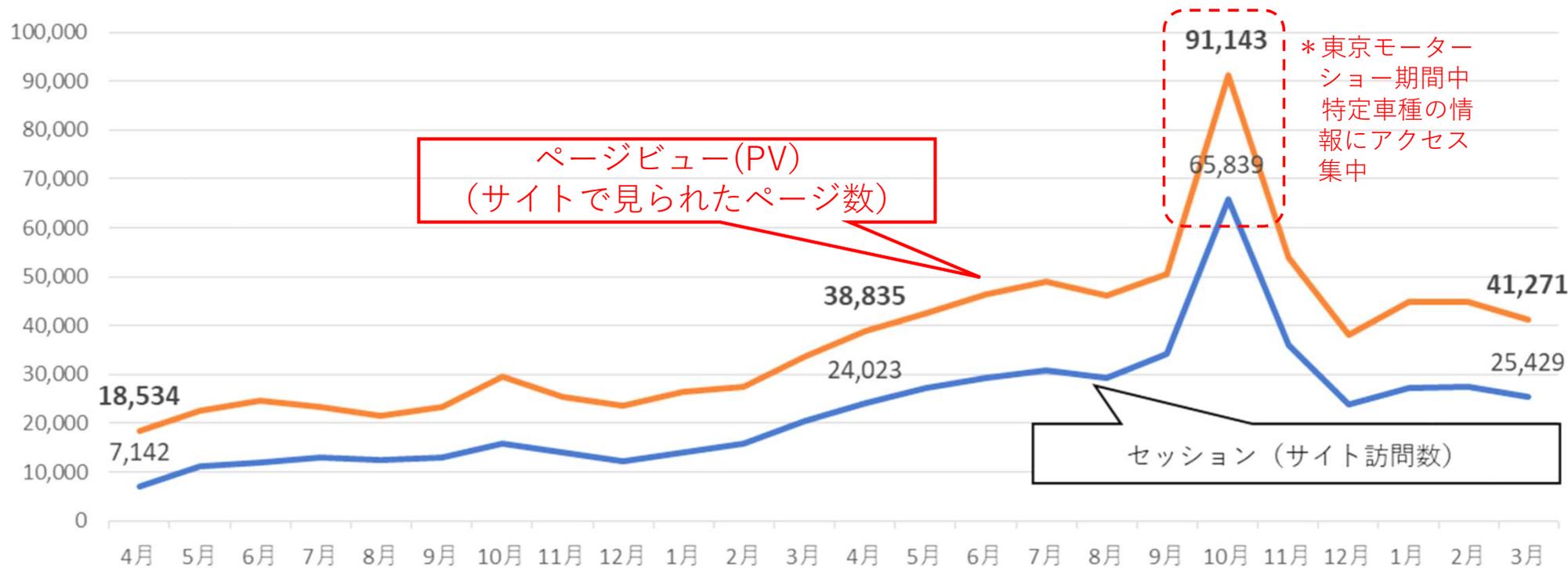
会員
研修会

5) クルマ好き拡大



⇒HPアクセス数は増加中：ページビュー(PV)は今年度目標の月間30,000を大きく超過

会議所HP 月間アクセス数推移 (2018年4月～2020年3月)



5) クルマ好き拡大

⇒東京モーターショー支援：会員・関連団体へバナー掲載働きかけ & 事前告知ポスター送付

■ HPバナー掲載協力24会員（会員順）

日本自動車部品工業会
日本自動車車体工業会
日本自動車タイヤ協会
日本自動車販売協会連合会
全国軽自動車協会連合会
日本中古自動車販売協会連合会
日本自動車整備振興会連合会
全国自動車標板協議会
日本自動車リース協会連合会
関東陸運振興センター
日本自動車車体整備協同組合連合会
日本二輪車普及安全協会
日本自動車研究所



日本自動車機械器具工業会
日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会
日本自動車査定協会
日本自動車教育振興財団
秋田県自動車会議所
福島県自動車会議所
神奈川県自動車会議所
静岡県自動車会議所
愛知県自動車会議所
岐阜県自動車会議所
富山県自動車会議所



第46回 東京モーターショー 2019
10月24日(木) - 11月4日(月・祝)
東京ビッグサイト - お台場周辺エリア



■ 会員以外の関連団体へも事前告知ポスターを送付

日本鍛圧機械工業会 日本金属プレス工業協会 日本ロボット工業会
日本工作機械工業会 日本金型工業会 日本鍛造協会 他



6) 会員サービス・日本自動車会館関係

1. 会員研修会

- ・ 高齢者事故や、パラリンピック、AI、人口減少など時節のテーマで全7回開催



東京2020パラリンピックと共生社会の実現
田口亜希氏 (7/25)



人工知能はわれわれの生活をどう変えるか
松原仁氏 (8/30)



人口減少日本でこれから起きること
河合雅司氏 (11/6)



1. 会員研修会（開催状況）

開催日	テーマ	講師		参加者数
4月25日	自動車産業からみる国際情勢	経済産業省自動車課	通商政策企画官 潮崎 雄治 氏	61
6月4日	高齢者交通安全対策の課題と展望	東京大学大学院 新領域創成科学研究科	教授 鎌田 実 氏	69
7月25日	東京2020パラリンピックと共生社会の実現	スポーツ庁参与	パラリンピアン協会理事 田口 亜希 氏	70
8月30日	人工知能はわれわれの生活をどう変えるか	公立はこだて未来大学	副理事長 教授 松原 仁 氏	58
9月27日	高齢者の運転傾向と安全対策 ～運転挙動調査研究よりわかること	NPO法人 高齢者安全運転支援研究会	事務局長 平塚 雅之 氏	76
11月6日	未来の年表 人口減少日本でこれから起きること	人口減少対策総合研究所	理事長 河合 雅司 氏	58
12月19日	大再編時代に突入した自動車産業	三菱UFJリサーチ(株)	チーフアドバイザー 松島 憲之 氏	100
2月27日	人口減が地域を強くする ～持続可能な社会構築へモビリティの役割～	※新型コロナウイルスの影響で延期 日本総合研究所	首席主任研究員 藤波 匠 氏	
3月25日	高齢者事故 ドライブレコーダー分析(仮題)	※新型コロナウイルスの影響で延期 高齢者安全運転診断センター	専務理事 石田 浩 氏	



2. 国内施設視察会

- ・ホンダ「ツインリンクもてぎ」で安全運転講習会を実施（11/11）

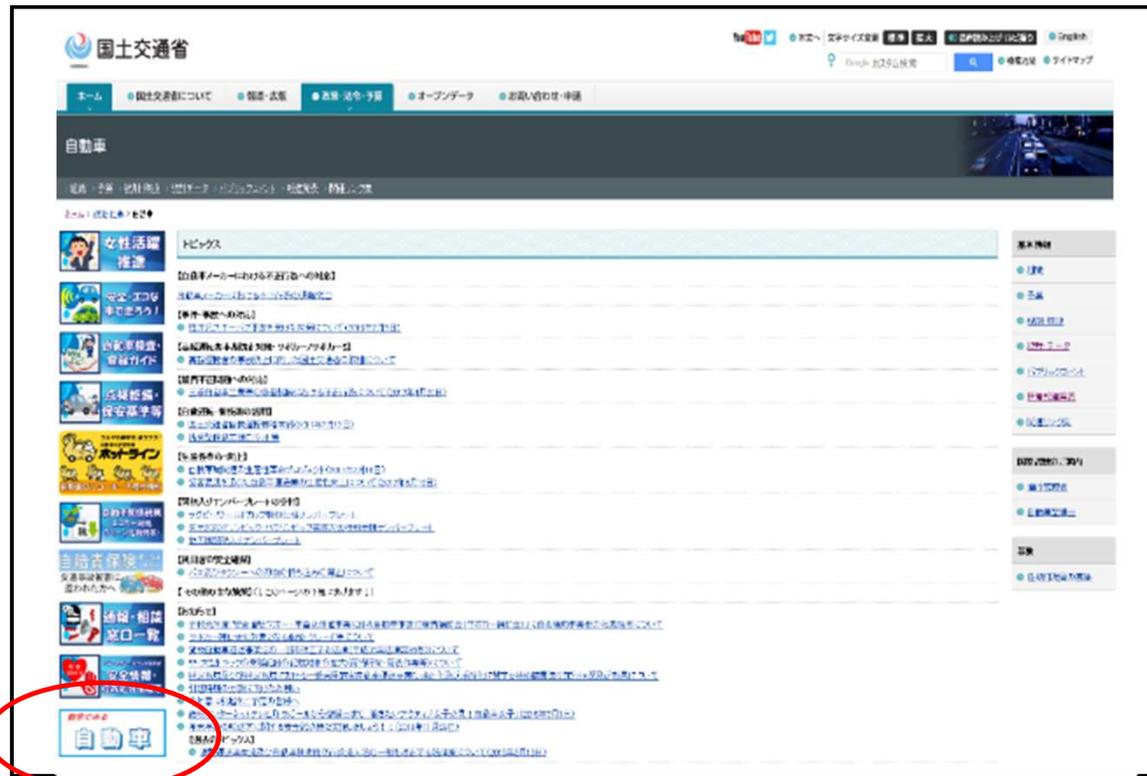
3. 広報

- ・会議所ニュース発行を年12回から年10回に見直し（月3,200部）
（ニュースが少ない2・8月を翌月合併）
- ・事業計画 報道説明会(総会翌日 5/29)、ニュースリリース（4回）



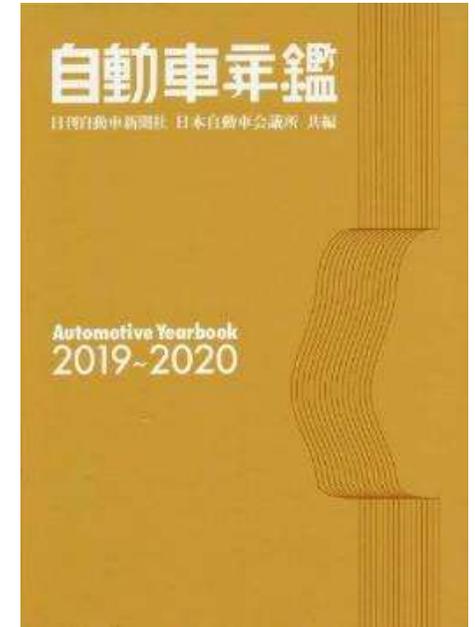
4. 出版事業

- ・ 「数字で見る自動車」、「運送事業経営指標」（ともに国交省監修）を国交省ホームページに移管することなどで対応し、出版・販売を終了
- ・ 日刊自動車新聞社共編「自動車年鑑」を発行（9月）



国交省HP（自動車局）

「数字で見る自動車」
バナー掲載開始
（今秋～）





5. 日本自動車会館運営

- ・ 効率的運営のため、総務部会・広報部会→「総合部会」に統合（4月）。
新たな会館PR、地域・社会貢献策を検討中
- ・ オリ・パラや東京モーターショーPR支援、会館交流会(10月 160名参加)
および女性連絡会(2回)などを継続して実施



日本自動車会館交流会(10/10)
前年を上回る160名が参加



交流会で団体間ボッチャ対抗戦も実施
大きな盛り上がりを見せた



日本自動車会館くるまプラザ内
東京オリ・パラPRコーナー

6. 全国自動車会議所連携



- ・ **全国専務理事会**を開催(10/23、2/6)。2月時は**交通安全祈願** (蓼科山聖光寺) も併せて実施



全国専務理事会(10/23) 東京都内



全国専務理事会(2/6) 長野県茅野市



聖光寺 交通安全祈願の様子(2/7)

6. 全国自動車会議所連携



- ・ 3月理事会終了後の永年勤続者表彰式は、新型コロナウイルスの影響を考慮し、5月以降に延期



昨年の永年勤続者表彰式の様子(2019年3月) 日本自動車会館



2. 委員会活動

1) 運営委員会

委員長：永塚誠一 自工会副会長・専務理事

[所管事項]

日本自動車会議所の活動実績・計画の審議・承認

[開催実績]

第81回 委員会（書面）（4/19）

- ・ 第204回理事会（書面）（5/13）上程「第85回定時総会議案」 審議
- ・ 第205回理事会（5/28）上程「役員選任案」 審議

第82回 委員会（書面）[※]（3/10）

- ・ 第206回理事会（書面）[※]（3/25）上程「2020年度事業計画・予算案」 審議

※**新型コロナウイルスの影響で急遽書面審議に変更**



運営委員会

※注：写真は昨年2月開催のもの

2) 税制委員会

委員長：吉武一郎 自販連法規・税制委員長



[所管事項]

自動車に関する税制全般について、関係業界、自動車ユーザーにとって納得性のある税体系に向けて見直しを関係各方面に要望・提言

[開催実績]

第1回 税制部会 (9/6)

- ・ 委員団体税制要望ヒアリング



税制委員会(9/19)

第1回 委員会 (9/19)

- ・ 税制改正要望書 審議
→取りまとめ (10/7)

第2回 委員会 (2/14)

- ・ 甘利明 自民党税制調査会会長講演・意見交換



甘利税調会長(2/14)

3) 道路・交通委員会

委員長：梶野龍二 全ト協理事長

[所管事項]

道路・交通、保険、交通安全などの分野について、必要な調査・研究、関係業界間の情報共有、関係各方面への要望・提言



道路・交通委員会(7/29)

[開催実績]

第1回 委員会 (7/29)

・政策動向 情報共有

- ①道路行政 ②ホワイト経営・物流
- ③MaaS

ご説明者		
①	国交省道路局企画課道路事業調整官	渡邊良一氏
②	自動車局総務課企画室財務企画調整官	鈴木健介氏
③	総合政策局E-Runtime推進課課長	重田裕彦氏

第2回 委員会 (1/22)

・政策動向 情報共有

- ①国交省来年度予算案 (自動車局・道路局)
- ②自動車検査証電子化

・その他 自賠責繰戻陳情活動 結果報告 (会議所)

ご説明者		
①	国交省自動車局総務課企画官	栗原弥生氏
	道路局企画課道路事業調整官	渡邊良一氏
②	自動車局自動車情報課課長	田中賢二氏

4) 経済・産業委員会

委員長：平井敏文 自販連副会長・専務理事

[所管事項]

経済・産業、環境、人材などの分野について、必要な調査・研究、関係業界間の情報共有、関係各方面への要望・提言



経済・産業委員会(7/31)

[開催実績]

第1回 委員会 (7/31)

・ 政策動向 情報共有

- ①自動車産業政策 ②SDGs

ご説明者		
①	経済産業省製造産業局自動車課課長補佐	神田啓史氏
②	内閣府地方創生推進事務局主査	大久保淳氏

第2回 委員会 (2/18)

・ 政策動向 情報共有

- ①経産省来年度自動車関係予算案

・ 次世代自動車に関する情報共有

- ②電動車活用推進協議会 ③FCV普及に向けたステーション整備

・ その他 東京モーターショー結果報告 (自工会)

ご説明者		
①	経済産業省製造産業局自動車課課長補佐	神田啓史氏
②	同	同
③	日本水素ステーションネットワーク合同会社(JHyM) 社長	菅原英喜氏